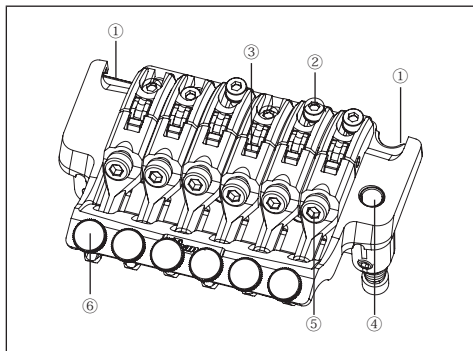


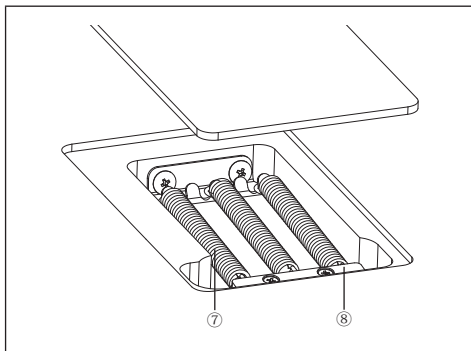
# Edge IIIトレモロ・ブリッジ

## ■ 正面



- ① ナイフエッジ
- ② サドル・ロック・ボルト
- ③ スtring・ホルダー・ブロック
- ④ アームソケット

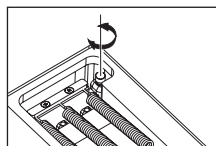
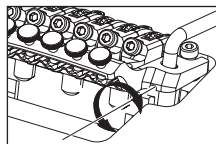
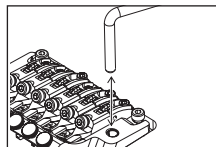
## ■ 背面



- ⑤ String・STOPPER・ボルト
- ⑥ ファイン・チューニング・ボルト
- ⑦ トレモロ・スプリング
- ⑧ スプリング・ロック

## トレモロアームの取り付け

- ① トレモロアームは挿し込み式です。ベースプレートのアームソケットに、トレモロアームのコーナー部分を持って確実に挿し込みます。  
※EGEN8に搭載されているEDGE III Herman Li Ver.のトレモロアームはねじ込み式です。トレモロアームをアームソケットに挿入後、回転させて締め込みます。
- ② トレモロアームの締め付けは、トレモロ・ブロック側面の調整穴から、トルク調整スクリューを六角レンチ (2mm) で回して調整します。  
トルク調整スクリューを時計回りに締めこむとトレモロアームの締め付けが増し、緩めると締め付けも緩くなります。
- ③ トレモロアームの高さは、ギター裏側のトレモロ・スプリング・カバーを取り外し、トレモロ・ブロック底面にある高さ調整スクリューを六角レンチ (3mm) で回して調整します。時計回りに締め込むほど取り付け高さは高くなります。



## ご注意

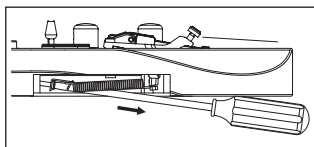
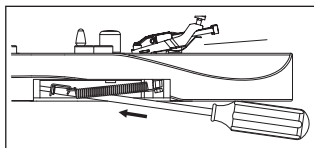
- ・トレモロアームのトルク調整スクリューは、上記以外にトレモロ・ブロック下部にも設けられています。トレモロ・ブロック下部のトルク調整スクリューは出荷時に調整されていますが、調整が必要になった場合はトレモロ本体をギターから取り外した状態で行ってください。
- ・トレモロアームを取り付ける前に、トルク調整スクリューに緩みや脱落がない事を確認してください。

JP

## トレモロの取り付け角度調整

トレモロの取り付け角度は、弦の張力とギターの本体裏側に装着されたトレモロ・スプリングの張力とのバランスで調整します。トレモロがギターの本体表面とおおよそ平行になるように調整することで、最も優れた性能を発揮します。

- ① 正しくチューニングした状態で、トレモロの傾きを確認します。
- ② トレモロが前方へ傾いている場合は、本体裏側のトレモロ・スプリング・カバーのスリットからプラスドライバーを挿し込み、スクリューを締め込んでトレモロ・スプリングの張力を強くします。
- ③ トレモロが後方へ傾いている場合はスクリューを緩め、トレモロ・スプリングの張力を弱めます。

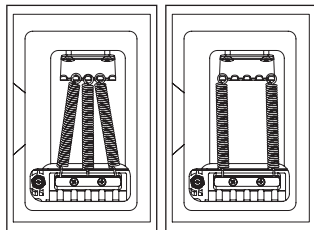
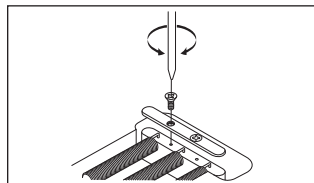


※ トレモロの角度調整は、トレモロ・スプリングの張力を調整するたびに弦とスプリングとの張力バランスが変化するため、チューニングに影響を及ぼします。チューニングを繰り返しながら調整してください。

## トレモロ・スプリング

工場出荷時は、3本のトレモロ・スプリングが並行に取り付けられた状態でセットアップされています。弦のゲージを変更したり、ダウンチューニングで使用するなど弦とトレモロ・スプリングとの張力バランスが大きく変化する場合には、トレモロ・スプリングの数や取り付け方の変更が必要になる場合があります。

- ① スプリングロックをプラスドライバーで取り外します。
- ② 張力を強めたい場合は、外側の2本のトレモロ・スプリングを斜めに取り付けます。
- ③ 張力を弱めたい場合は、中央のトレモロ・スプリングを取り外します。



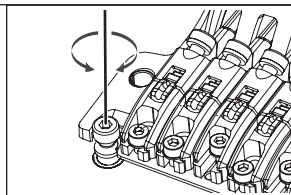
4本以上のトレモロ・スプリングを装着する場合は、スプリングロックを取り付けているスクリュー穴を利用して取り付けます(スプリングロックは装着できなくなります)。

## ご注意

- トレモロ・スプリングの着脱は弦を十分に緩めてから行ってください。また、全てのスプリングを外すとトレモロがギターから外れますのでご注意ください。
- 再度トレモロを取り付ける際は、トレモロのナイフエッジをスタッドボルトの溝に確実に挿し込んだ状態でトレモロ・スプリングを取り付けてください。

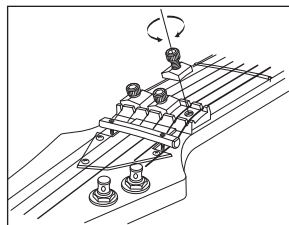
## 弦高調整

トレモロ本体左右のスタッドボルトを六角レンチ(3mm)で回して、トレモロ全体の高さを動かして弦高を調整します(各弦ごとの調整は行えません)。

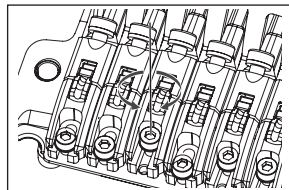


## イントネーション調整

- ① ロッキング・ナットのプレッシャー・パッド・ボルトを六角レンチ (3mm) で緩め、十分に弦を緩めます。



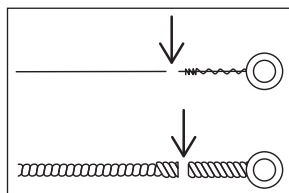
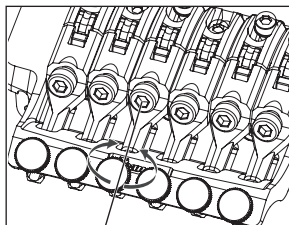
- ② サドル・ロック・ボルトを六角レンチ (2mm) で緩め、サドル位置を調整します。



※ イントネーションの確認は、サドル・ロック・ボルトがしっかりと締まった状態で、正しいチューニングで行ってください。調整が終わりましたら、サドル・ロック・ボルトとロッキング・ナットのプレッシャー・パッド・ボルトを締めてください。

## 弦交換

- ① ロッキング・ナットのプレッシャー・パッド・ボルトを六角レンチ (3mm) で緩め、糸巻きから弦を取り外します。
- ② トレモロ本体のストリング・ストッパー・ボルトを六角レンチ (3mm) で緩め、サドルから弦を引き抜いて取り外します。
- ③ 新しい弦は先端のボールエンド部分をニッパー等で切り落とします。
- ④ ボールエンドを切り落とした側の弦の先端をサドルとストリング・ホルダー・ブロックとの間に挿入し、ストリング・ストッパー・ボルトを締めて弦を固定します。
- ⑤ 糸巻きで弦を巻き上げ、チューニングを行います。
- ⑥ チューニング完了後、ロッキング・ナットのプレッシャー・パッド・ボルトを締めます。



※ 全ての弦を一度に取り外すとトレモロの取り付け角度が大きく変化するため、弦交換は1本ずつ行うことをお勧めします。全ての弦を一度に取り外す場合にはトレモロの取り付け角度が大きく変化しないよう、トレモロ下部にクロス等を挟んで固定するとチューニングが比較的容易に行えます。

## ご注意

- ・ チューニングを行う前に、ストリング・ストッパー・ボルトがしっかりと締め付けられていることを確認してください。

## ファイン・チューニング

ロッキング・ナットで弦をロックした後も、ファイン・チューナーによって各弦のチューニングの微調整が行えます。チューニングの前に、あらかじめ全てのファイン・チューニング・ボルトを可動範囲の中央付近に調整しておくと、弦をロックした後の調整幅を広く持たせることができます。

